

2009年度末の財政状況について

■ 貸借対照表 要旨

(単位:百万円)

科 目		2008年度 2009年3月31日現在	2009年度 2010年3月31日現在
資産の部	現預金	29,901	32,971
	有価証券	1,332,721	1,377,372
	国内債券	570,542	589,337
	株式	43,497	44,982
	外国証券	657,257	690,679
	その他の証券	61,422	52,372
	貸付金	51,272	45,544
	保険約款貸付	14,411	12,977
	一般貸付	36,860	32,566
	有形固定資産	31,039	27,967
	土地	15,480	13,649
	建物	12,648	11,513
	その他の有形固定資産	2,910	2,804
	無形固定資産	20,143	11,314
	ソフトウェア	1,769	3,681
	既存保険契約評価額	18,371	7,630
	その他の無形固定資産	2	2
その他資産	33,934	26,036	
繰延税金資産	54,086	33,267	
貸倒引当金	△5,041	△6,043	
資産の部合計	1,548,058	1,548,431	
負債の部	保険契約準備金	1,433,135	1,373,656
	支払備金	12,156	12,767
	責任準備金	1,405,300	1,347,424
	契約者配当準備金	15,678	13,464
	その他負債	9,047	12,154
	退職給付引当金	26,487	26,821
	役員退職慰労引当金	295	226
	価格変動準備金	955	1,863
	負債の部合計	1,469,921	1,414,721
純資産の部	資本金	45,000	45,000
	資本剰余金	15,000	15,000
	資本準備金	15,000	15,000
	利益剰余金	60,793	67,297
	利益準備金	21	21
	その他利益剰余金	60,772	67,276
	繰越利益剰余金	60,772	67,276
	株主資本合計	120,793	127,297
	その他有価証券評価差額金	△42,795	6,412
	繰延ヘッジ損益	138	-
	評価・換算差額等合計	△42,656	6,412
純資産の部合計	78,136	133,709	
負債および純資産の部合計	1,548,058	1,548,431	

有価証券

高格付けで信用リスクの低い内外公社債で運用しており、安定性と中長期的な収益性のバランスに十分に配慮した投資を行っています。なお、外国証券には外貨建保険と同一通貨で運用され、為替リスクを有さない公社債が含まれています。

貸付金

一般貸付に対するリスク管理債権の割合は8.3%であり、かつすべて適正な引当処理を行っています。

不動産

賃貸料収入を目的に、優良テナント物件に投資しています。

既存保険契約評価額

更生計画の認可時点で、残存する保険契約の将来10年間に生じる収益を保険数理計算により評価して、3,000億円の評価額を資産に計上しました。
当期においても計上時と同様の方法により、当年度末に残存する保険契約を再評価し、前年度末との差額107億円を償却しています。なお、これまでの9年間で2,923億円を償却しています。

繰延税金資産

前払いした税金に係わる将来の回収可能額（繰延税金資産）と、有価証券の含み益が実現した際の税金相当額（繰延税金負債）との純額を貸借対照表に計上しています。

貸倒引当金

リスク管理債権に該当しない貸付金（正常先債権や要注意先債権）に対しても、貸倒実績率等に基づき、十分な引当金を計上しています。

責任準備金

責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については、標準責任準備金または平準純保険料式により計算した額を積み立てています。

価格変動準備金

株式など価格変動の大きい資産について、その価格が将来下落したときの損失に備えて積み立てている準備金です。

その他有価証券評価差額金

その他有価証券の含み益82億円に対し、税効果後の64億円をその他有価証券評価差額金として計上しています。

(注)金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

2009年度の経営成績について

■ 損益計算書 要旨

(単位:百万円)

科 目		2008年度 2008年4月1日～2009年3月31日	2009年度 2009年4月1日～2010年3月31日
経常損益の部	経常収益	457,011	324,038
	保険料等収入	227,290	184,618
	保険料	226,759	183,940
	再保険収入	531	677
	資産運用収益	77,338	75,958
	利息および配当金等収入	62,529	49,012
	有価証券売却益	14,774	16,452
	為替差益	—	4,791
	その他運用収益	34	0
	特別勘定資産運用益	—	5,702
	その他経常収益	152,383	63,462
	責任準備金戻入額	142,604	57,876
	その他の経常収益	9,778	5,585
	経常費用	511,144	307,937
	保険金等支払金	265,399	217,667
	責任準備金等繰入額	24	633
	資産運用費用	161,648	18,727
	有価証券売却損	25,987	1,349
	有価証券評価損	75,097	7,409
	為替差損	38,069	—
その他運用費用	10,526	9,968	
特別勘定資産運用損	11,967	—	
事業費	56,655	50,656	
その他経常費用	27,417	20,252	
既存保険契約評価額償却	12,731	10,740	
その他の経常費用	14,686	9,511	
経常利益(△経常損失)	△54,132	16,101	
特別損益の部	特別利益	5,891	1,331
	固定資産等処分益	—	1,331
	価格変動準備金戻入額	5,891	—
	特別損失	1,152	6,603
	固定資産等処分損	71	5,617
	減損損失	126	77
	価格変動準備金繰入額	955	908
	契約者配当準備金繰入額	2,765	2,438
税引前当期純利益(△純損失)	△52,159	8,391	
法人税および住民税	1,959	237	
法人税等調整額	△12,708	1,649	
法人税等合計	△10,748	1,887	
当期純利益(△純損失)	△41,411	6,503	

保険料等収入

保険料等収入は、外貨建個人年金保険の販売が低調だったことから、前年度比81.2%となりました。

資産運用収益

資産運用による収益で利息・配当金や有価証券の売却益等が含まれます。一般勘定の資産運用収益の約7割を利息および配当金等収入が占めています。

為替差益

外貨建取引に関する為替換算損益等を計上しています。外貨建保険に係わるものが大部分を占めており、差益の大半は責任準備金繰入等で相殺されています。

保険金等支払金

保険金等支払金のうち、解約返戻金は前年同期比55.6%となりました。

有価証券評価損

保有有価証券のうち、時価の下落により一定の含み損に達した銘柄について、簿価と時価との差額を減損処理したものです。当社では保守的かつ厳格な基準を設定し、財務の健全性の維持を図っています。

利益

経常利益は161億円、当期純利益は65億円となりました。

なお、臨時的な損益を除いた基礎利益(保険本業での利益)は235億円を確保しています。さらなる収益向上、コスト削減に向けた取り組みを続けていきます。

■ 基礎利益(経常利益等の明細) 要旨

(単位:百万円)

	2008年度 2008年4月1日～2009年3月31日	2009年度 2009年4月1日～2010年3月31日
● 基礎利益(A)	31,889	23,514
キャピタル収益	51,746	21,243
キャピタル費用	144,047	15,859
キャピタル損益(B)	△92,300	5,384
臨時収益	21,866	2,996
臨時費用	15,588	15,794
臨時損益(C)	6,277	△12,797
経常利益(損失)(A)+(B)+(C)	△54,132	16,101

基礎利益

1年間の保険本業の収益力を示す指標の一つで、一般事業会社の「営業利益」や銀行の「業務純益」に近いものです。これに有価証券売却損益などの「キャピタル損益」と「臨時損益」を加えたものが「経常利益」となります。

(注)金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。